

財団30周年記念「第28回アドバイザー全国大会」・シンポジウムI

「人生100年時代に期待されるアドバイザー活動」

- | | | |
|------------------|-------------|-----|
| (1) 基調講演 | 吉田隆幸 (副理事長) | 15分 |
| (2) 若い世代AD活躍型協議会 | 事例 | |
| ① 健康生きがいづくり岡山 | 松井浩明 会長他2名 | 15分 |
| ② 和歌山県健康生きがいづ | くりアドバイザー協議会 | |
| | 市野弘 会長他2名 | 15分 |
| (3) 視聴者参加「意見交換」 | | 15分 |

「基調講演」 1. 人生100年時代の到来

高齢化率	これまでの30年間		これからの30年間	
	1991年 12%	2021年 29%	2022年	2051年 37%
平均寿命	男性75歳 女性81歳	81歳 87歳	2040年	83歳 89歳
	人生80年時代		人生100年時代	
定年年齢	55～60歳	60～65歳	70歳	
AD平均年齢	○67歳 (定年60歳)	○71歳 (定年65歳)	○75歳 (定年70歳努力義務)	
AD活動年齢 (シニア団体)	60～80歳 (50～60歳 両立 △)		70～90歳⇒50～90歳 (50～60歳 両立 ○)	
AD活動実践	リーダー・世話役 60～75歳 元気シニアのセカンドライフ充実		リーダー・世話役 50～85歳 セカンドライフ・サードライフ充実	

2. 社会情勢の変化 I

1991年	2021年	2022年	2050年		
0~30年		31~60年			
学ぶ 6~20歳	働く 20~60歳	定年後 60~80歳	学ぶ 6~20歳	働く 20~70歳	定年後 70~90歳
終身雇用制度			マルチキャリア⇒転職型 ⇒副業公認 ⇒起業型		
女性の社会進出 経済成長率0.7%に低下 インターネット利用者80% ゆとりがあった時代			女性の社会進出・共働き拡大 社会保障費負担増 ICT国家を目指す 不安を感じる時代		

3. 社会情勢の変化Ⅱ

「LIFE SHIFT 100年時代の人生戦略」

リンダ・グラットン アンドリュー・スコット。

2007年生まれの日本の子供の半分は107歳まで生きると予測され、若い世代に従来の生き方とは違う、新しい柔軟な人生設計の必要性を説いている。

厚生労働省HP「**人生100年時代構想会議**は、人生100年時代を見据えた経済社会システムを創り上げるための政策のグランドデザインを検討する会議」

「人生100年時代に、高齢者から若者まで、全ての国民に活躍の場があり、全ての人々が元気に活躍し続けられる社会、安心して暮らすことのできる社会をつくることが重要な課題となっています」

4. 社会情勢の変化Ⅲ

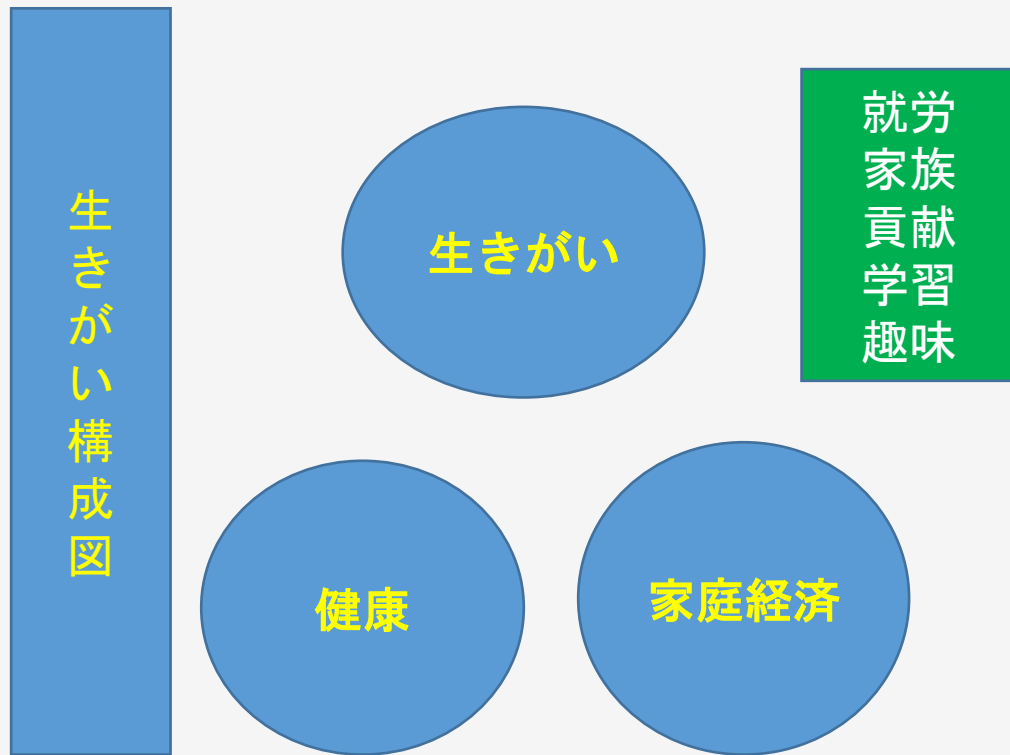
年代	年代
高年者 50・60歳代	高齢者 70・80歳代
<ul style="list-style-type: none">・ 生きがいライフ挑戦・ アイディア豊富・ 挑戦能力パワー・フルタイム・ リスク対応パワー・ IT能力強い・ 要介護時には労働参加	<ul style="list-style-type: none">・ 生きがいライフ充実・ キャリアスキル豊富・ 保守的行動思考・パート・ リスク対応回避・ IT苦手・ 要介護時には社会貢献参加
リーダー・世話役 開発型	リーダー・世話役 指導型

5. 財団30周年・アドバイザー活動・協議会活動の推移

	1991年～2000年 0～10年	2001年～2010年 11～20年	2011年～2020年 21～30年
AD誕生数 養成受講料	300人/年間 13万円 (学びが目的)	200人/年間 10万円 個人で活動	120人/年間 2.5万円 協議会活動参加)
登録会員数 協議会数	平均1090人 平均32協議会	平均1184人 平均42協議会 (最高60)	平均761人 平均40協議会 (現在30)
活動状況	国・地方自治体 支援活発化 マスコミPR活発	協議会活動充実 リーダー・世話役 60～70歳充実	協議会・経済の低迷、高齡化の影響 AD拡大右肩下り

5. 健康生きがいつくりアドバイザー（AD）・協議会の魅力

生きがい・ライフプランを学ぶ



ライフプラン表

	目標・計画	実行方法
健康プラン		
生プ	就労	
キラ	ボランティア	
ガン	生涯学習	
い	自由時間	
家庭経済プラン		

5. 全国で活躍するアドバイザー

「地域・仲間づくり」分野

町田市・里山保全・竹細工教室
長野県・「ウエルカム三才児プロジェクト」



「健康づくり」分野

神奈川県・ノルディック・ポールウォーキング活動
千葉県・健康体操

「社会参加」分野

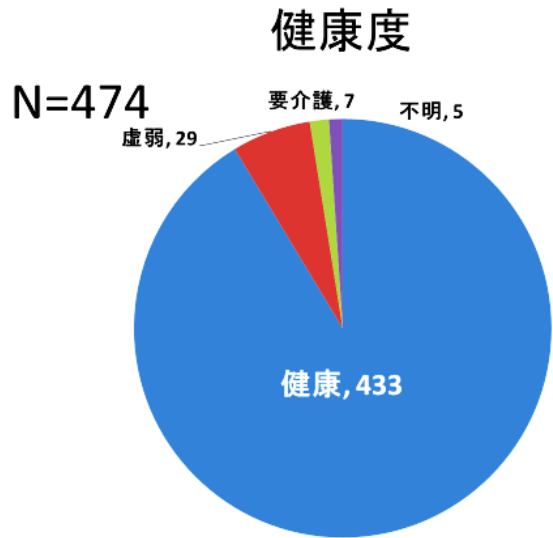
川口市・生涯学習講座
横浜市・コミュニティーサロン



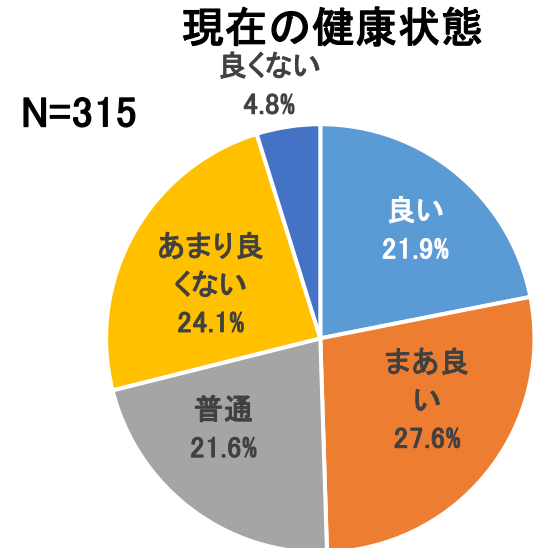
「家庭経済」分野

川崎市・生きがい就労講座
品川区・コミュニティビジネス

4. 70歳以上ADアンケート調査・N474/3946人 (H30年)

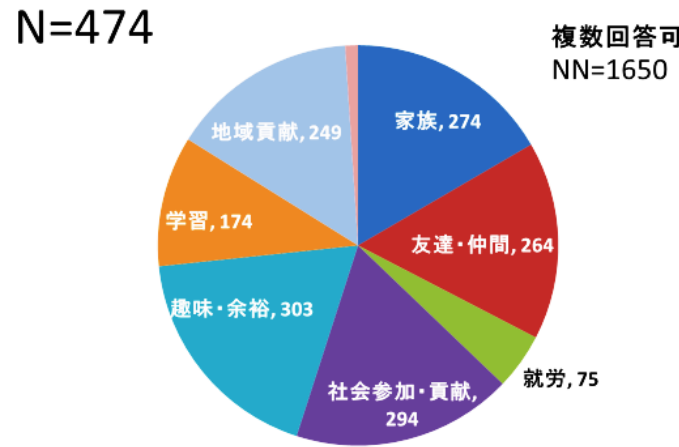


80歳以上
ADデータ
**健康度
87.0%**

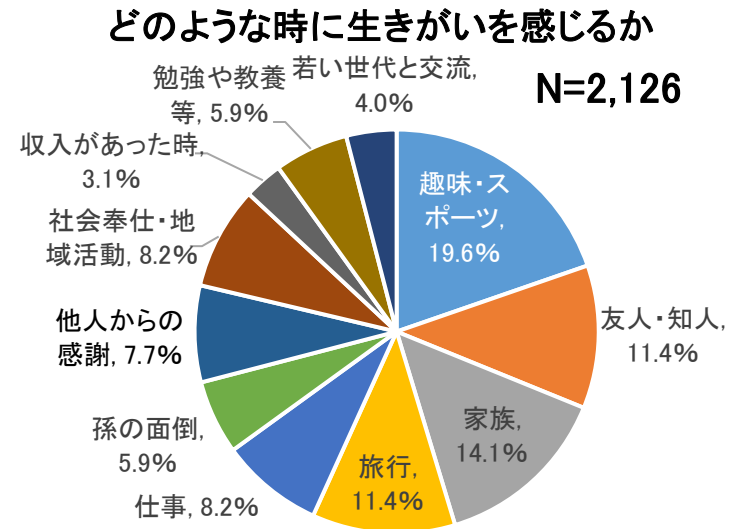


内閣府データ (80歳以上) H29
健康状態 71.1%

あなたにとっての「生きがい」とは



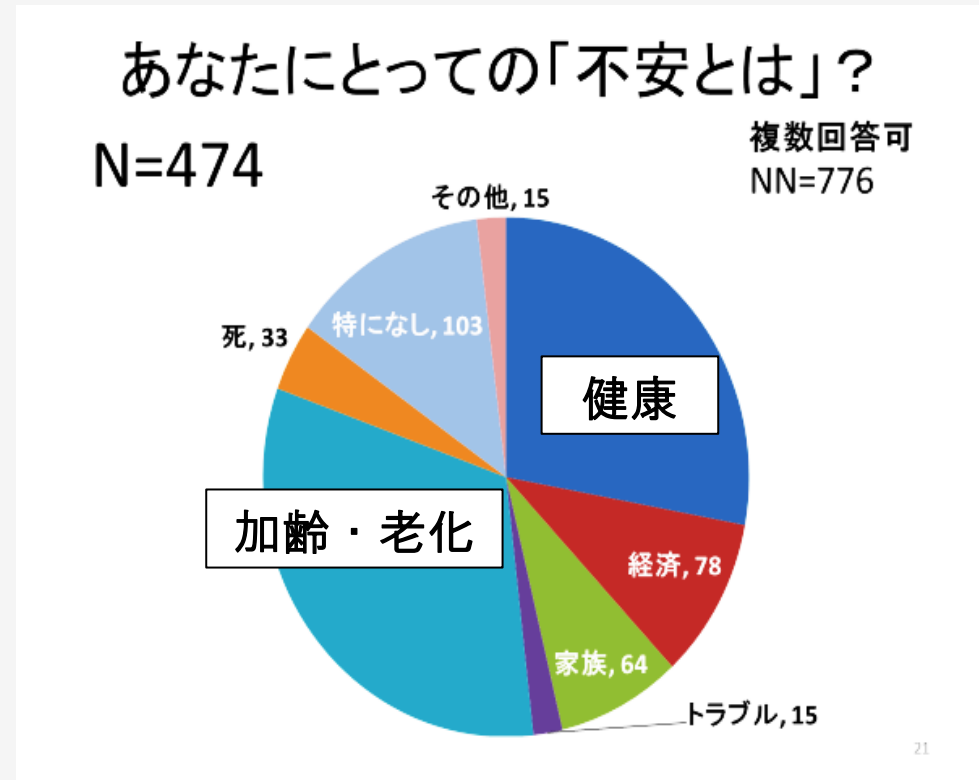
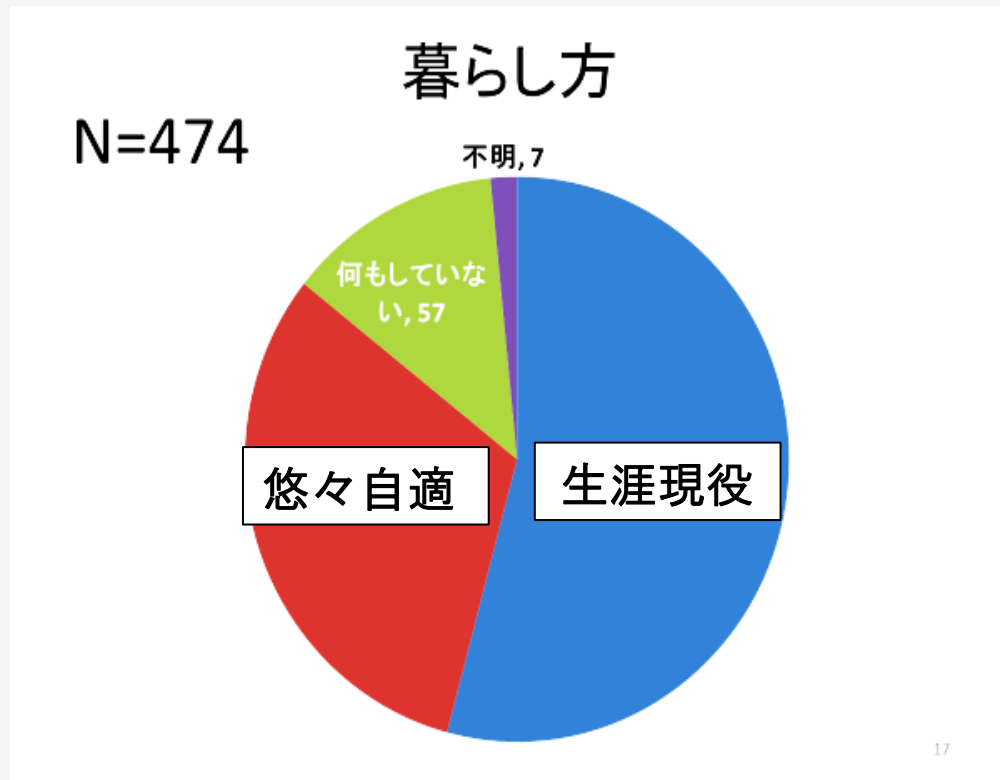
80歳以上AD
データ
**社会貢献・
地域貢献
32.8%**



社会奉仕や地域活動をしている時
他人から感謝された時
15.9%

4. 70歳以上ADアンケート調査・N474/3946人（H30年）

—生きがいライフは元気で 楽しい80歳代を創る—

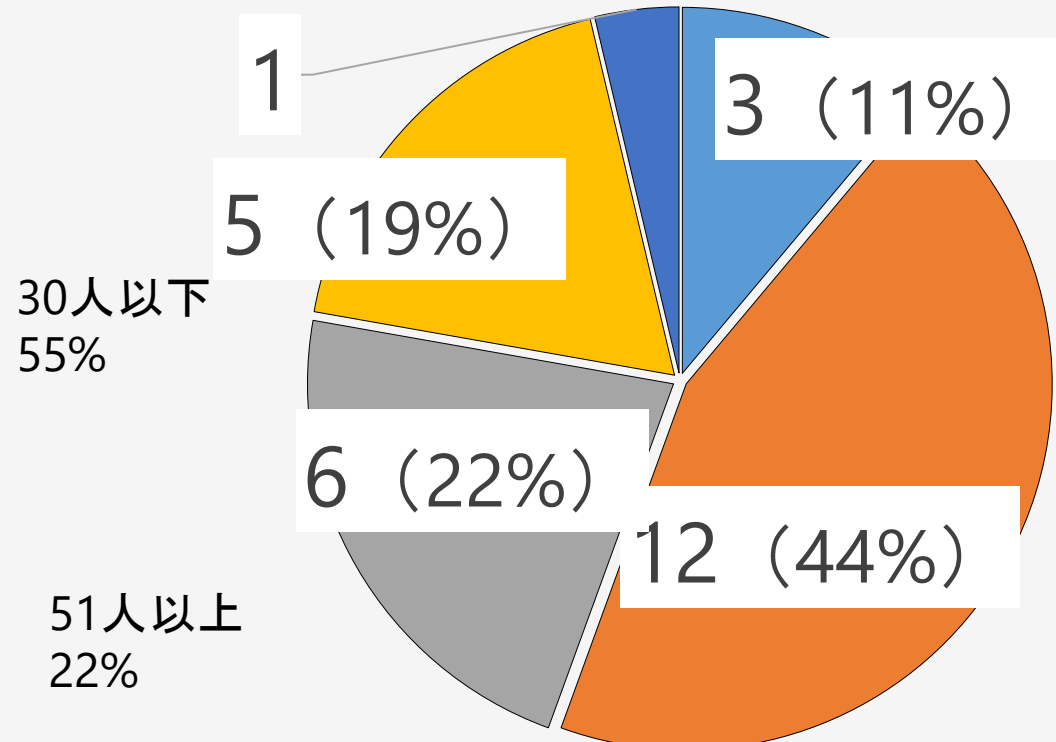


6. 全国協議会活動状況 & 目標 & モデル事例 (調査R2年実施)

1. 登録会員数別協議会数

(1) 登録会

10人以内	3 協議会
11~30人	12 協議会
31~50人	6 協議会
51~100人	5 協議会
101人以上	1 協議会



※31人以上で見ても、45%と半分以下

n=27

※ 会員数が最も多いのは神奈川204人、続いて北海道99人、静岡と滋賀69人

(2) 実働会員数は、登録会員数の60~70%

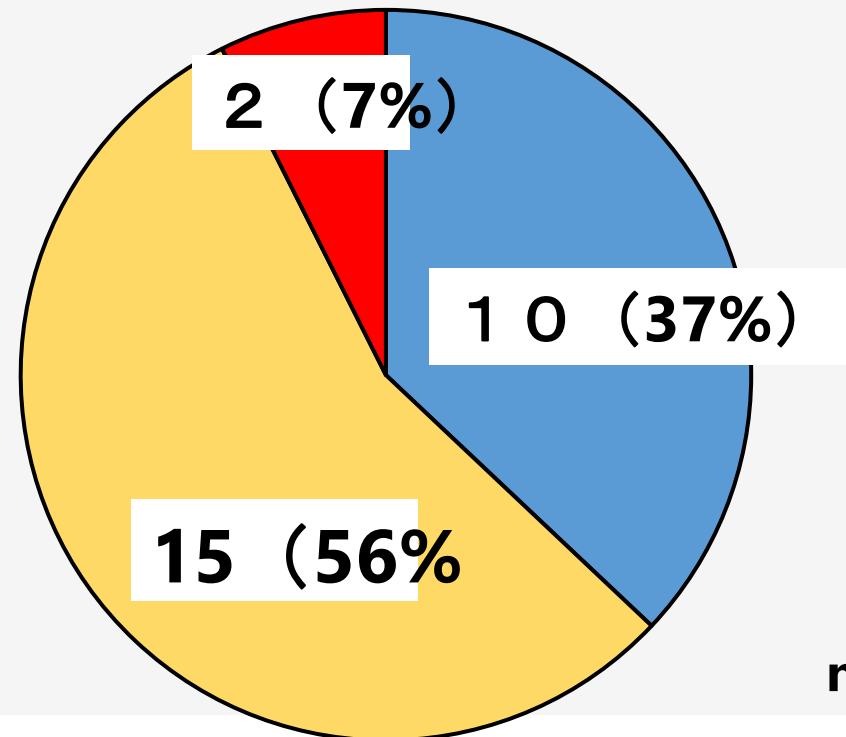
6. 全国協議会活動状況&目標&モデル事例

2. 運営実態・収支状況 (会費収入だけでは厳しい)

(1) 27協議会のうち、黒字は10、収支差額0は15、赤字は2

(2) 事務所経費を負担しているのは12で、負担額は最大で年間30万円

収支状況

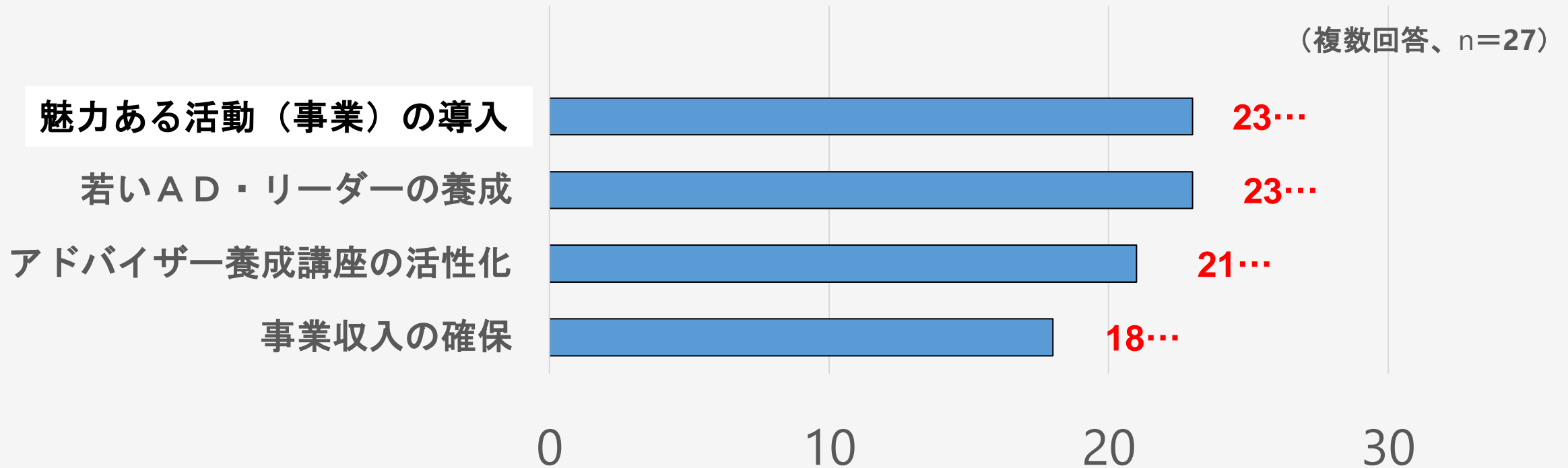


■ 黒字 ■ 収支差額0 ■ 赤字

n=27

6. 全国協議会活動状況&目標&モデル事例

3、協議会活性化へ向けての課題・目標

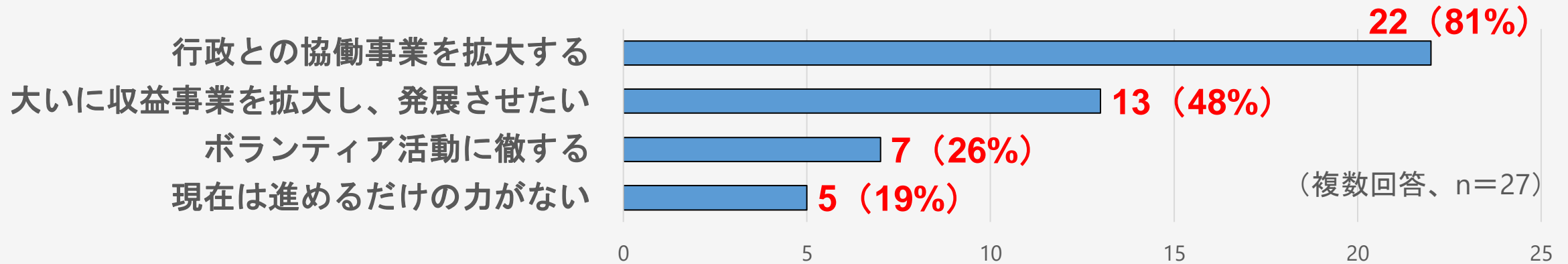


その他の意見

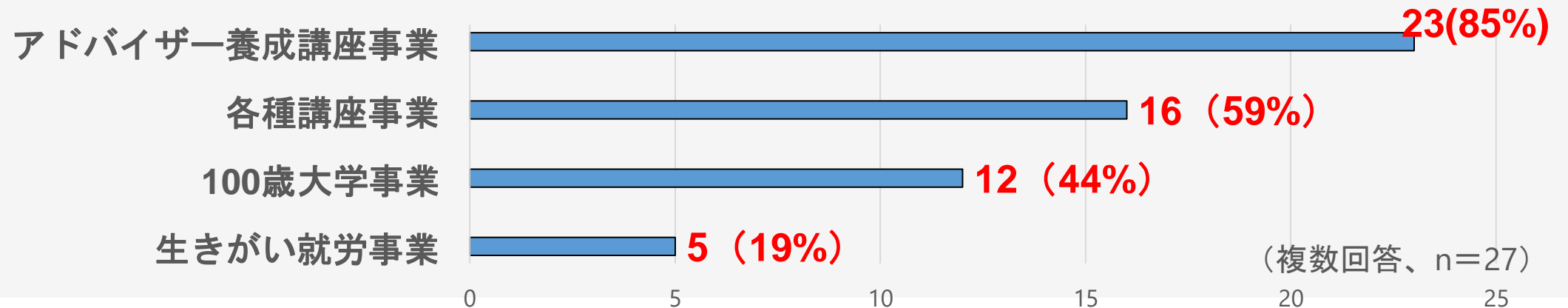
- ・ 定例会の開催
- ・ 会員のスキルアップ
- ・ 会員からの意見聴取
- ・ 補助金、助成
- ・ 関連団体とのネットワーク構築
- ・ 成果物の販売
- ・ 「生きがい講座」を全県下で

6. 全国協議会活動状況 & 目標 & モデル事例

4. 事業収入確保へ向けての現状認識と今後の取り組み



5. 収益事業として取り組みたい事業



6.全国協議会活動状況&目標&モデル活動事例

①100歳大学

- 100歳大学のねらい⇒人生100歳時代の老いの生き方の基礎、基本を体系的に学ぶ とりわけ、その「覚悟と備えを学ぶ仕組み」の創造を目指す
- 実施市町村と令和2年予算⇒滋賀県下 栗東市330万円 湖南市440万円 甲賀市550万円 が滋賀健生に運営委託
- この事業には滋賀健生、卒業生、地元関係者が参加している
- この事業から地域包括ケアにかかわる次の具体的行政との協働事業に発展している
- 大事なことはこの事業運営に一定の人に偏るのではなく、多くの会員にいきわたることが大事である
- 滋賀県から全国に拡大することを財団としても支援しています

6. 全国協議会活動状況 & 目標 & モデル事例

② ノルディックウォーキング (NW) 事業活動

- ・ 神奈川県下ではADが指導する14団体のNW団体（2019/3末）が活動、
14団体で「神奈川健生ノルディックウォーキングクラブ
(KNWC)」を構成、昨年設立10周年を迎えた
- ・ 主な事業は2事業・・・NWイベント事業（年4～5回開催）とJNWA
公認/NW指導者養成・更新講習会事業（年2回開催）
- ・ NWイベントと各NW団体の年間活動総数は400回以上、参加総数は延べ9,000人
- ・ NWイベント・・・開催数5回、参加費1,000円、参加者70名＝約35万円
[経費：下見費、チラシ費、当日スタッフ費等]
- ・ NW指導者講習会・・・開催数2回、受講料（養成13,000円/10名、
更新5,000円/15名）＝約20万円
[経費：会場費、案内作成費、案内郵送費、当日スタッフ費等]
- ・ 収支差 黒字



「若い世代AD活躍型協議会事例紹介」

(1) 健生岡山

私たちは行政、企業、地域などの様々な組織や団体との連携を通して、地域の人々と共に、健康で、生きがいある生活、安心して暮らせる明るいコミュニティーづくりを目指し中高年年齢層の健康づくりと自立を支援しています。

- まちづくり
- 認知症予防「フレイル活動」
- 生涯現役わくわく大学
- ステップアップ研修

発表者

- | | | | |
|--------|------|------|----------|
| ◆松井浩明 | 会長 | 60歳代 | テーマ |
| ◆石部春子 | 事務局長 | 60歳代 | 「フレイル活動」 |
| ◆有村エリ子 | 看護師 | 60歳代 | |

(2) 和歌山県健康生きがいつくりアドバイザー協議会

厳しい社会情勢化の中で、中高年齢者や障害者の方も含めた多くの人たちに対して、啓発、仲間づくり、機会・情報提供、相談・助言、能力開発、生きがいと健康づくりの活動を通し、明るく活力のある地域社会の形成に寄与します。

- 100歳大学事業の普及展開
- フレイル介護予防事業の普及展開
- AD拡大推進 養成講座・認定研修の実施
- 各会員の生きがいライフマイスターの活動を確認

発表者

- | | | | テーマ |
|------|------|------|----------|
| ◆市野弘 | 会長 | 70歳代 | 「高齢者就労」 |
| ◆東正志 | 会社社長 | 50歳代 | 「地域包括ケア」 |
| ◆高林稔 | 団体 | 50歳代 | |